

**JASDAQ**

2019年11月12日

各 位

会社名 佐渡汽船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 尾崎弘明
 (JASDAQ・コード 9176)
 問合せ先
 役職・氏名 総務部長 土屋 亨
 電 話 025-245-2311

2019年12月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ

2019年2月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2019年12月期通期連結業績予想値の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,838	百万円 175	百万円 76	百万円 31	円 銭 2.19
今回予想(B)	11,545	△72	△194	△175	△12.34
増減額(B-A)	△293	△247	△270	△206	
増減率(%)	△2.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	11,942	246	152	105	7.43

2019年12月期通期個別業績予想値の修正（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,428	百万円 11	百万円 5	円 銭 0.41
今回予想(B)	8,160	△274	△261	△18.17
増減額(B-A)	△268	△285	△266	
増減率(%)	△3.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	8,558	49	57	4.03

修正の理由

1. 連結業績予想

売上高につきましては、以下の理由により前回予想を下回る見込みであります。2019年3月9日に発生した当社のジェットフォイル「ぎんが」と海中漂流物との接触事故により、ジェットフォイル「ぎんが」は修繕のため2019年7月19日に営業航海を再開するまでの間、当初予定していた運航ダイヤの変更（減便）を行ったため、ジェットフォイルによる旅客輸送量が減少しました。これによる売上高の減少を合理的に見積もることは困難であります。また、8月のお盆期間中から10月の三連休にかけて台風10号、17号、18号、19号が相次いで当地方に接近し、欠航や旅行キャンセルが発生したことから旅客輸送量が当初見込みを約5万人（発着合計）下回る見込みであります。

営業利益につきましては、船舶修繕費が減少したことや費用の削減に努めたものの、2019年前半にかけて原油価格が見込みより高く推移したため燃料費が増加したこと、また主な要因として売上高が大きく減少したことにより、前回予想を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、売上高の減少および連結子会社において当初、営業外収益に見込んでいた固定資産売却益を特別利益に計上したことから、前回予想を下回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結子会社及び当社において固定資産売却益を特別利益に計上したものの、売上高の減少により前回予想を下回る見込みであります。

以上の理由により、売上高11,545百万円、営業利益△72百万円、経常利益△194百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△175百万円に修正いたします。

2. 個別業績予想

売上高、経常利益につきましては、上記連結業績予想と同様の理由により、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、船舶の売却により固定資産売却益27,353千円を特別利益に計上する見込みであります。売上高及び経常利益の減少に伴い前回予想を下回る見込みであります。

以上の理由により、売上高8,160百万円、経常利益△274百万円、当期純利益△261百万円に修正いたします。

以 上